



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場会社名 マナック株式会社
 コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 杉之原 祥二
 (氏名) 杉之原 誠
 配当支払開始予定日 平成23年12月5日
 TEL 084-954-3330

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,748	△0.1	92	△7.4	114	△14.0	△38	—
23年3月期第2四半期	4,751	17.8	99	—	132	—	92	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △54百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △69百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△4.84	—
23年3月期第2四半期	11.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	11,959	8,371	69.9
23年3月期	12,553	8,486	67.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,371百万円 23年3月期 8,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	7.50	10.00
24年3月期	—	2.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	4.7	380	41.4	450	21.8	230	3.6	28.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更を行っております。詳細は、添付資料P. 2「サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	8,625,000 株	23年3月期	8,625,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	590,347 株	23年3月期	590,244 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	8,034,724 株	23年3月期2Q	8,035,164 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、円高がさらに進み、製造業の国内空洞化に拍車をかけるであろう深刻な事態を招いております。一方、欧米では景気の減速や変動により不透明な状況にあります。欧州債務問題の不安は解消されず、又、GDP第2位の中国でも生産調整や金融引き締めにより本格的な景気回復には至っておりません。

このような情勢のもとで当社グループは、本年度「グローバル・マナック」をめざして、医薬関連製品、電子材料、機能性材料、難燃剤など、それぞれ国際市場への新たなマーケット開拓と製品開発に向け、ニーズの掘り起こしに積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高は4,748百万円（前年同四半期比△3百万円、0.1%減）、営業利益は92百万円（同△7百万円、7.4%減）、経常利益は114百万円（同△18百万円、14.0%減）、四半期純利益は、その他有価証券の減損処理による評価損など特別損失計上があり、△38百万円（前年同四半期は四半期純利益92百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、薄型TV関連製品が在庫調整などの影響を受け低迷しましたが、情報機器や半導体関連向けの電子材料や機能性材料の需要が堅調に推移し、前年とほぼ同水準の結果となりました。又、医薬関連製品は経済状況に左右されることなく堅調に推移いたしました。その結果、売上高は2,440百万円、セグメント利益は191百万円となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、家電製品や携帯情報端末などIT関連製品のプラスチック分野に使用される材料が前年を上回る需要となり安定的に推移いたしました。又、建築材料関連のプラスチックに使用される難燃剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は1,698百万円、セグメント利益は203百万円となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、人工透析剤として使用される原料は国内販売がほとんどを占める中、需要は安定的に推移いたしました。その結果、売上高は610百万円、セグメント利益は72百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて593百万円減少し、11,959百万円となりました。これは主に、有価証券、金銭信託が537百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて478百万円減少し、3,588百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少及び未払法人税等の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて114百万円減少し、8,371百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更いたしました。

この変更は、グループ全体の減価償却方法の見直しの検討を行ってきた結果、定額法が固定資産の使用実態により即しており、経営管理の精度を高め、当社の実態をより適切に反映すると判断されることから行ったものであります。

この結果、従来の方によった場合と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ30百万円多く計上されております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	996,613	1,024,478
受取手形及び売掛金	3,053,015	2,923,421
有価証券	734,722	297,499
金銭の信託	1,450,000	1,350,000
商品及び製品	1,001,645	1,015,013
仕掛品	347,908	409,344
原材料及び貯蔵品	472,641	480,359
繰延税金資産	129,962	129,176
その他	112,652	86,735
貸倒引当金	△2,683	△2,732
流動資産合計	8,296,478	7,713,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,117,750	1,089,983
機械装置及び運搬具(純額)	555,234	522,058
土地	1,146,675	1,146,675
建設仮勘定	26,824	68,499
その他(純額)	113,599	141,885
有形固定資産合計	2,960,083	2,969,103
無形固定資産	4,755	4,110
投資その他の資産		
投資有価証券	873,213	862,705
関係会社長期貸付金	110,500	110,200
繰延税金資産	99,551	95,361
その他	209,058	205,479
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,291,723	1,273,146
固定資産合計	4,256,562	4,246,359
資産合計	12,553,040	11,959,656

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,199,184	1,315,086
短期借入金	1,303,264	941,055
未払法人税等	157,053	9,319
賞与引当金	125,042	140,393
その他	516,518	476,829
流動負債合計	3,301,063	2,882,684
固定負債		
長期借入金	291,013	283,647
退職給付引当金	246,954	—
役員退職慰労引当金	54,729	54,729
負ののれん	121,626	101,355
その他	51,579	265,970
固定負債合計	765,902	705,701
負債合計	4,066,966	3,588,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	5,114,901	5,015,766
自己株式	△243,513	△243,555
株主資本合計	8,576,738	8,477,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,135	△16,728
為替換算調整勘定	△63,527	△89,562
その他の包括利益累計額合計	△90,663	△106,291
純資産合計	8,486,074	8,371,269
負債純資産合計	12,553,040	11,959,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	4,751,612	4,748,600
売上原価	3,835,920	3,851,258
売上総利益	915,692	897,341
販売費及び一般管理費	815,854	804,857
営業利益	99,837	92,484
営業外収益		
受取利息	2,601	3,314
受取配当金	7,265	8,317
負ののれん償却額	20,271	20,271
受取ロイヤリティー	26,558	21,023
その他	22,577	11,943
営業外収益合計	79,274	64,870
営業外費用		
支払利息	14,951	12,143
デリバティブ評価損	—	11,862
為替差損	25,027	15,763
その他	6,226	3,252
営業外費用合計	46,204	43,022
経常利益	132,907	114,332
特別利益		
固定資産売却益	746	233
投資有価証券売却益	1,491	14
その他	110	—
特別利益合計	2,347	247
特別損失		
固定資産除却損	1,304	1,246
投資有価証券評価損	588	88,920
投資有価証券売却損	—	769
退職給付制度終了損	—	50,396
その他	85	—
特別損失合計	1,977	141,331
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	133,278	△26,752
法人税、住民税及び事業税	63,532	24,977
法人税等調整額	△22,457	△12,854
法人税等合計	41,075	12,122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	92,203	△38,874

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	92,203	△38,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117,415	10,407
為替換算調整勘定	△44,114	△26,034
その他の包括利益合計	△161,529	△15,627
四半期包括利益	△69,326	△54,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,326	△54,501
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第 2 四半期連結累計期間（自平成22年 4 月 1 日 至平成22年 9 月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,591,928	1,580,443	579,240	4,751,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,591,928	1,580,443	579,240	4,751,612
セグメント利益（営業利益）	247,600	175,849	76,767	500,217

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	500,217
全社費用（注）	△400,380
四半期連結損益計算書の営業利益	99,837

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

II 当第 2 四半期連結累計期間（自平成23年 4 月 1 日 至平成23年 9 月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,440,037	1,698,077	610,485	4,748,600
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,440,037	1,698,077	610,485	4,748,600
セグメント利益（営業利益）	191,310	203,879	72,936	468,125

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	468,125
全社費用（注）	△375,641
四半期連結損益計算書の営業利益	92,484

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。